



東京部会(第60回)

日時: 2013年10月1日(火) 19:00-21:15

場所: 日本大学経済学部本館中2階会議室

参加者: 篠原(同志社大)、中川(日大)、小巻(日大)、橋本(福井大)、手塚(日大)、新井(小石川中等教育)、三枝(目黒区立東山中)、升野(筑波大学附属中)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、宮崎(国際高)、久保田(千葉浦安南高)、塙(多摩高)、鈴木(日本経済教育センター)、石山(東証)、加茂下(文科省)、加藤(日大) [順不同]

【内容要旨】

1. 新井先生より配布された「東京部会レポート」にもとづき、下記のような報告があった。

- (1) 経済教室 in 札幌〔9月14日(土)〕:好評を得たとの報告 30名参加。
- (2) 夏休み経済教室の総括:石山氏から出席者のアンケート集計をまとめた書類が配布され、新井・石山のお二方を中心に総括、その後、ディスカッション。「経済の授業をエコノミストと作る」について、時間配分、組み合わせおよび役割分担などについて改善の余地があるという意見が出された。また、中高の先生の意見と大学教員との意見の開きもあり、次年度以降のプログラムをさらに検討する必要があるという点で一致をみた。
- (3) 篠原先生より、「市場と価格の考え方」という資料が配布され、今後の部会における取組みを含めて経済教育自体の方向性を議論してはどうか、という提案があった。中学では社会科として教授するのであり、「何を教えるのか」という視点を忘れてはいけない。昨年来の懸案となっている法教育と経済教育の架橋についてもその観点から検討すれば、テーマごとに一定の解がでるのではないか、ということであった。その後、意見交換。
- (4) 年次大会:2014年3月22日(土) 同志社大学において開催。今回も法と経済を扱う。
- (5) 入試問題検討の総括:新井先生より、10月に報告予定の日本社会科教育学会における発表レジュメ「大学入試問題を活用した経済教育の在り方—トリレンマ脱出をめざして—」が配布された。

2. 実践報告

三枝先生より、「法教育における経済単元の実践事例」という資料が配布され、契約の教え方に関する提案があった。

3. 今後、数名の先生を中心にワークショップの開催を模索することを確認。

次回開催予定:10月29日(火)19:00~21:00。場所は日本大学経済学部本館中2階会議室。議題は、年次大会の内容検討、実践報告など

今後の開催予定:11月19日(火)、12月17日(火)、いずれも場所は未定